

大谷地況、シラカ沢

1981年8月30日

**滑谷沢右俣左沢**

滑谷沢右俣左沢に入る。最初は川原状、続いて滑谷沢左俣上流のような青みがかかったナメ床が続く。しばらくナメ床を遡ると、1164mピークより派生している尾根によって沢が二分され、右側の沢には4mの滝がかかっている。この滝の左岸を登ると沢は左に曲がり、正面に30mのナメ滝を落している。それを越すと小さな滝がいくつか現われ、水もかかっている。左側にヤブをこぎ尾根を越えて、先ほどわかれた左沢の下降に移る。

左沢には右沢ほど顕著な滝もなく、苦労することなく合流点に着く。

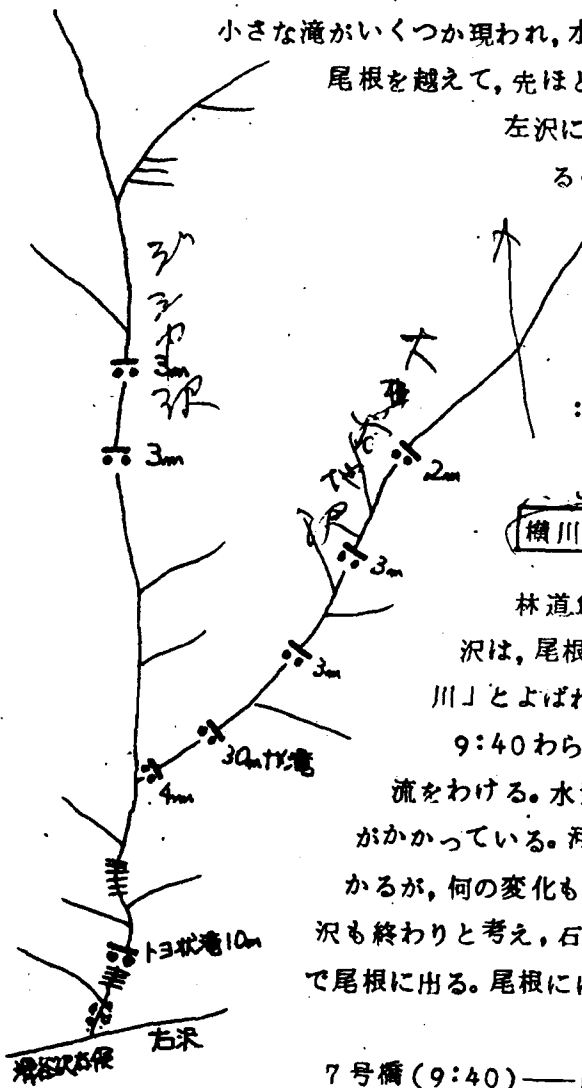
(記。)

滑谷沢右俣左沢分岐 (9:50)

) — 二俣 (10:20) — 尾根

(11:30, 12:00) — 二俣 (12

:40)



**横川(鳥川支流)**

1981年8月29日

L

林道鳥川線の7号橋から沢に入る。この沢は、尾根1つ越えた小川支流と同じく「横川」とよばれている。

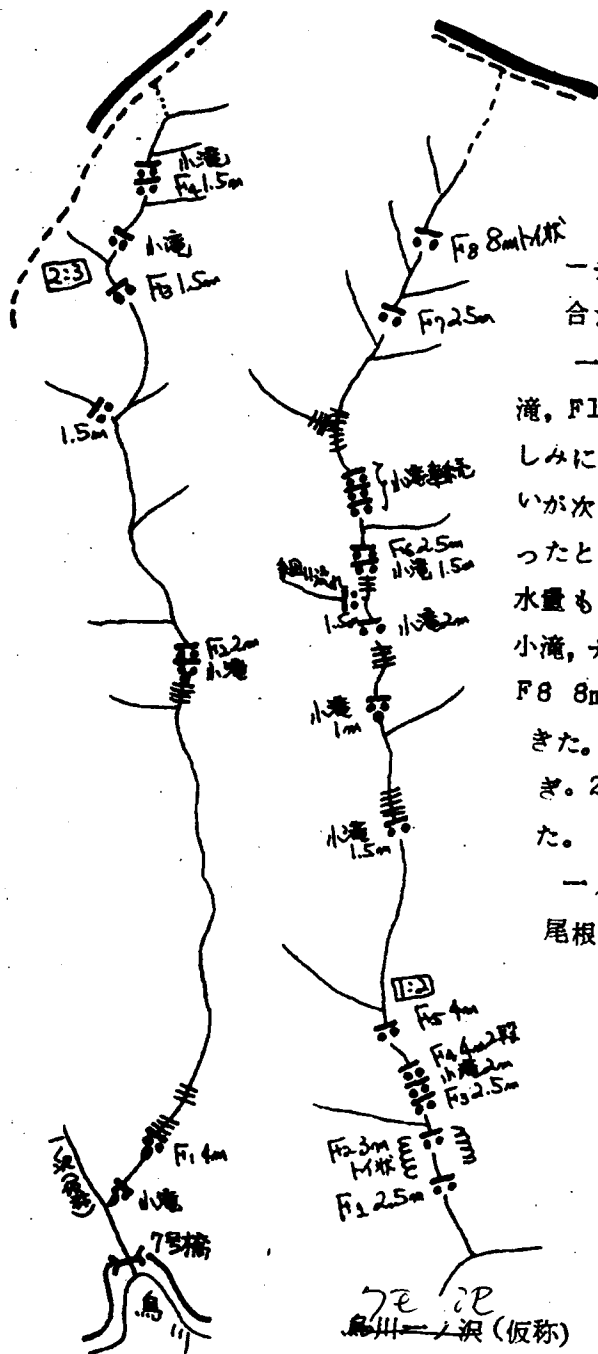
9:40わらじをつけて出発する。すぐ左に支流をわける。水量は右の本流の方が多い。小さな滝がかかっている。河原が続く。時々2~4mの滝がかかるが、何の変化もない。12:45、地形から判断して沢も終わりと考え、石岸の尾根に向かって登る。5分程で尾根に出る。尾根には廃道化した道があった。

(記。)

7号橋 (9:40) — 終了 (12:20) — 尾根 (12:25)

滑谷沢右俣左沢

(作図:萩原)



横川 (作図：和泉)

鳥川一ノ沢 (仮称)  
(作図：宍戸)

7元沢 1981年8月29日  
鳥川一ノ沢 (仮称) I

林道を栢松沢出合まで歩いてから沢に入る。鳥川本流を西・安藤パ  
ーティと一緒に鳥川一ノ沢 (仮称) 出  
合まで歩く。12:45, 出合着。

一ノ沢 (仮称) に入るとすぐ2つの小  
滝, F1 2.5m, F2 3m がかかり, 先が楽  
しみになってくる。続いてF3, F4 と小  
さいが次々にあらわれる。沢が逆S字に曲が  
ったところにもF5 4m。ここまでくると  
水量もだいぶ少くなり源流のようである。  
小滝, ナメのくり返すなかをなげも登る。  
F8 8m トイ状を越える。水も無くなって  
きた。最後の二俣を右に入り, すぐやぶこ  
ぎ。20分程で, ふみあとのある尾根に出  
た。

(記)

一ノ沢 (仮称) 出合 (12:45) —  
尾根 (14:35)

7元沢 1981年8月29日  
西川 (下降) L1

13:40 下降開始。20分程下ると  
沢の源頭に出る。最初は1~3mの  
小滝が続く。やがて, 10m程の二段  
滝が出てくるが, フリーで下るこ  
とができる。この下も2~5mの  
滝が連続するが, ザイルは必要な  
く楽に降りれる。15:45, 二俣。  
もう沢も終わりに近い。5分程で